

A young woman with brown hair, wearing a red cardigan over a white top and tan pants, is sitting in a black wheelchair with yellow handrails. She is smiling warmly at the camera. In the background, a woman in a dark blazer stands holding papers, and another woman in a white shirt sits at a desk with a laptop. The setting is a bright, modern office with large windows.

ユニバーサルマナー検定

～自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する人を育てる～

目次

・ 導入	02	・ 各カリキュラムの要件	19
・ ユニバーサルマナー検定とは	04	・ 受講の流れ	20
・ 選ばれる3つの特長	07	・ よくある質問	23
・ 学べるカリキュラム	10	・ 研修担当者の声	24
・ カリキュラムの概要	12	・ 導入事例	25
・ カリキュラムの詳細	13	・ 情報発信の例	26

このような経験はありませんか？



困っている人を見かけたが
声をかける勇気が出ない



実は迷惑になってしまう
のではと考えてしまい不安

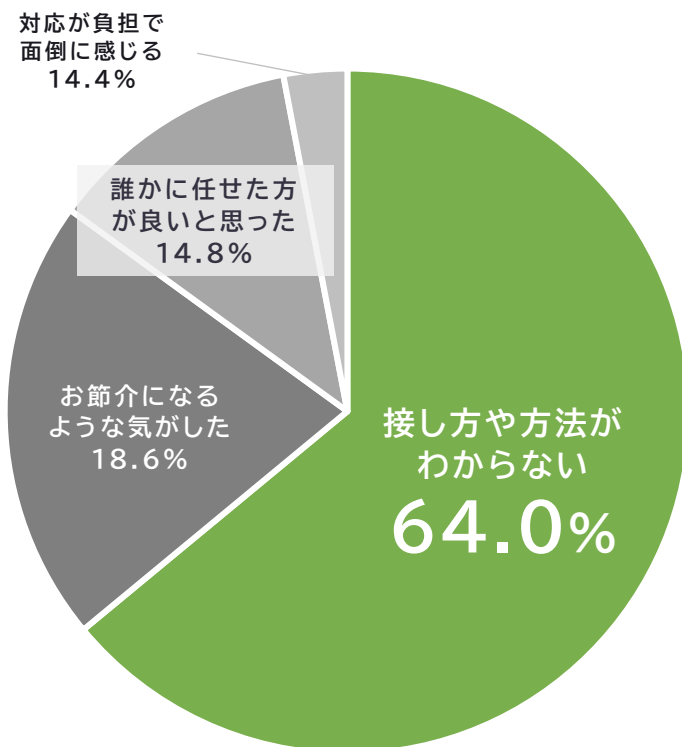


どうやってサポートを
すればよいか分からない



多くの人が「何かしたい」と思っても一歩を踏み出せない現実

一歩を踏み出すためには



「声をかけたい」という想いを行動に移すことができないとすれば、多様な方々の視点が「わからない」からです。

私たちには「知っているだけ」で、できることがある

cf.内閣府「障害者に関する世論調査」令和5年

ユニバーサルマナー検定とは



高齢者や障害者、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々を街で見かける現代。

私たちにとって、“自分とは違う誰かの視点に立ち行動すること”は、特別な対応ではなく、「こころづかい」の一つです。

多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションを体系的に学び、身につけるための資格。それを私たちは、「ユニバーサルマナー検定」と名づけました。

ハード（設備）を変えることができなくても、
私たち一人ひとりの「ハート」は今すぐに変えることができます。

自分とは違う誰かのことを考えられる社会。困っている人がいたら行動し、助け合える社会。
皆が安心して、心から楽しく過ごせる社会。

わたしたちは皆さんと共に、そんな社会を実現したいと考えています。

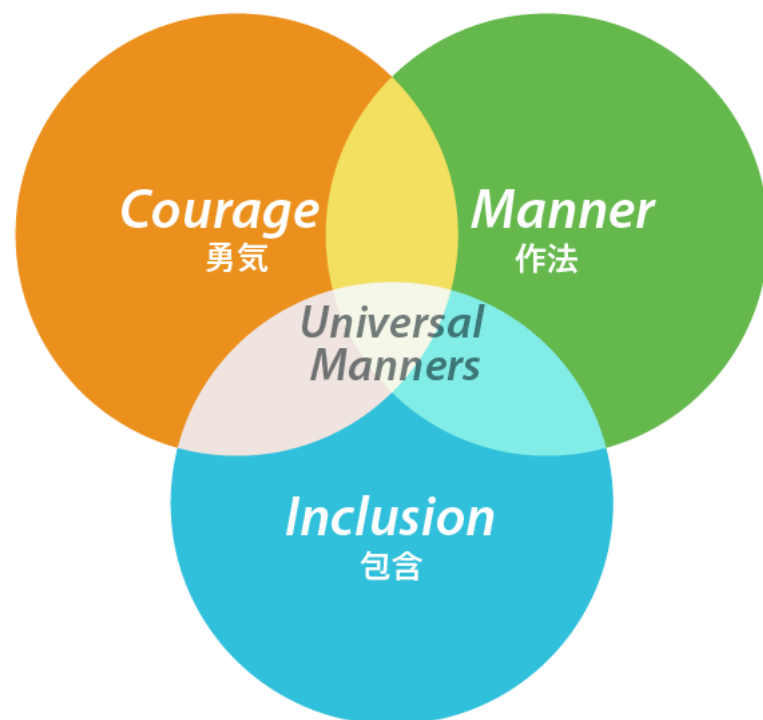
自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する人を育てる

認定者数 ※2024年12月時点



企業をはじめ、自治体や教育機関などで幅広く導入

ユニバーサルマナー習得のために



「ユニバーサルマナー」は3つの要素から構成されています。

一歩を踏み出すためのCourage(勇氣)、適切なサポートのためのManner(作法)、多様な人々と向き合うためのInclusion(包含)の3つです。困っている人を目の前に、「何かしたい」と思っても一歩を踏み出せずにいる人が数多くいます。

知識だけを習得しても、行動出来る人が少ないからこそ、3つの要素をふまえた「マインド」や「アクション」を体系的に学ぶことで、「ユニバーサルマナー」を実践できる人を目指します。

「マインド」と「アクション」を体系的に学ぶ

選ばれる3つの特長__その①



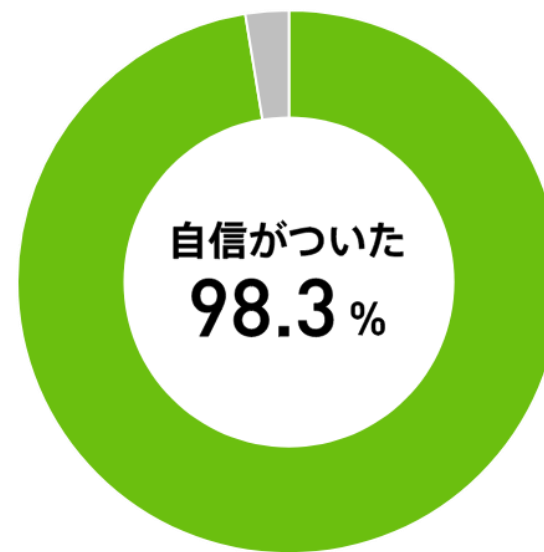
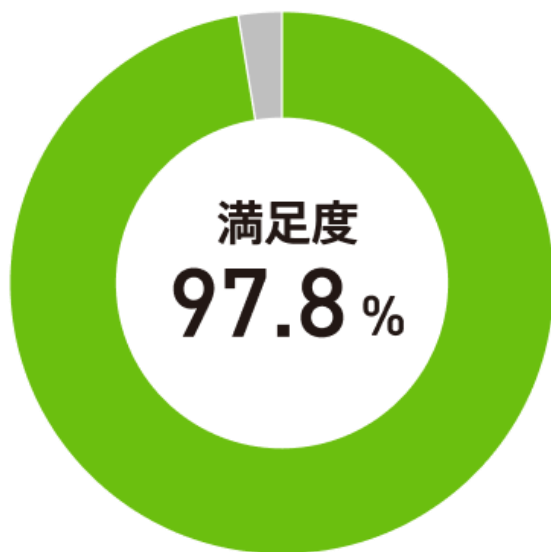
車いすを押すという一つのサポートでも、「かける言葉」「歩くスピード」など細かいことを工夫することで安心感は変わります。

ユニバーサルマナー検定では、当事者講師がカリキュラムを監修しています。

本当に喜ばれる細やかな配慮を身につけられるのは、当事者視点ならではのこだわりと発想があるからです。

当事者がカリキュラム監修と講師を務める

選ばれる3つの特長__その②



ユニバーサルマナー検定は、知識偏重ではなく、実践に重きを置いています。受講後アンケートでは97.8%が満足と回答し、98.3%が一步を踏み出す自信が付いてます。受講後、職場や日常生活において、「障害のある同僚への配慮が自然に出来た。」「初めてサポートが出来た。」「お客さまに喜んでいただけた。」という声も多数いただき、多くの方々の行動変容に繋がっています。

一步を踏み出す自信がつき、行動変容が起きる

※アンケート実施期間：2022年8月～2023年5月

選ばれる3つの特長__その③



NEW!



eラーニング

- ・ Web上でいつでもどこでも受講可能
- ・ PCやスマホ、タブレットに対応



オンライン

- ・ Web会議システムを用いたライブ配信
- ・ 臨場感ある受講が可能



会場受験

- ・ 実際に当事者講師と対面して学べる
- ・ 2級は障害者や高齢者体験が可能

時間や場所に縛られない多様なスタイルで受講できる

学べるカリキュラム

ユニバーサルマナー検定は、上位級に進むほど、より多様な視点や感性が身につく逆三角形型カリキュラムです。

3級でマインドの基礎を学び、2級でより実践的なサポート方法を身につけ、1級で自身の価値観や行動の幅を広げる学びが得られます。

全カリキュラムを通じて、「自分とは違う誰かの視点に立ち、行動する人」を育てます。



1級

違いを包含し、人生の幅を広げる人になる

選択式の多様なカリキュラムと当事者のリアルにふれる体験を通して、価値観や世界観を広げる

2級

多様な方への適切なサポートが出来る人になる

車いすの操作方法や視覚障害者の誘導方法など、実践的なサポート方法と、より詳しい知識を学ぶ

3級

違いと向き合い、一步を踏み出せる人になる

人と人との違いを理解し、基本的な向き合い方やお声がけ方法を学ぶ、ユニバーサルマナーの入門講座

基礎から実践まで、多様な感性が身につく逆三角形型カリキュラム

3級から1級へのステップ



※2級と1級レポート以外は単体受講が可能

カリキュラムの概要

カリキュラム名		概要
検定	ユニバーサルマナー検定3級	ユニバーサルマナー検定3級は、高齢者や障害者への基本的な向き合い方やお声がけ方法を学ぶ、導入のための講座です。3級取得講座では「ユニバーサルマナーとは」「人と人との違いを考えよう」「どんな人がどんなことに困っているのか」「代表的なお声がけ方法」など基本的な内容に加え、多様な方々への心理状況を考えるワークを行います。
	ユニバーサルマナー検定2級	ユニバーサルマナー検定2級は、車いすの操作方法など、実践的なサポート方法とより詳しい知識を学ぶ講座です。ステップアップ形式の為、3級取得が必要です。2級取得講座では、3級よりも更に範囲が広く詳しい「多様な方々の心理状況」を扱います。座学と実技があり、最後に認定試験を受けていただきます。
	ユニバーサルマナー検定1級	ユニバーサルマナー検定1級は、オンラインでも受講可能な選択式のカリキュラムと、当事者のリアルにふれる体験を通して、自身の価値観や世界観をひろげる講座です。カリキュラムの受講と体験を実施後、認定のためにレポートを提出いただきます。認定のためには、3級・2級の取得が必要ですが、関連カリキュラムや体験は、3級・2級を取得していなくても受講可能です。
関連カリキュラム	ユニバーサルワーク研修	ユニバーサルワーク研修は、精神・発達障害者と一緒に「働く」ことを起点に、すべての人に共通するコミュニケーションやマナーを学ぶことができます。講義として精神・発達障害者の基礎理解を深め、得た知識を基にケースワークで実践的な対応方法を考えます。最後に質疑応答の時間があるため、自身の身近な課題や事例にもお答えします。
	LGBTQ+対応マナー研修	同性愛や両性愛など同性・両性を好きになる人、性同一性障害やトランスジェンダーなど心と身体の性に不一致を感じる人々の頭文字を総称してLGBTQ+（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クエスチョニング）と呼びます。LGBTQ+に関する基礎的な用語やこれまでの歴史、職場における対応方法や具体的な取り組み事例などを総合的に学ぶことが出来ます。
	ユニバーサルコミュニケーション研修	ユニバーサルコミュニケーション研修は、聴覚障害を理解し、多様なコミュニケーション方法を学ぶための講座です。これまで聴覚障害者と接点がなかった人や、交流や直接質問する機会が少なかった人を対象に、当事者講師による講義とワークを行います。研修の最後には簡単な手話講座も実施いたします。
	認知症対応マナー研修	認知症対応マナー研修は、認知症の方へのコミュニケーション方法について学ぶ研修です。認知症に関する概要を学ぶ中で、本人ではなく、周りの方のコミュニケーション方法や、環境を変えることで解決出来ることが多くあることを理解し、認知症に関するイメージを改めることが出来ます。

カリキュラムの詳細__ユニバーサルマナー検定3級



違いと向き合い
一歩踏み出せる人になる

カリキュラムの一例

- ユニバーサルマナーが求められる理由
- 障害者や高齢者の生活と心理
- ハードは変えられなくても、ハートは今すぐ変えられる
- ユニバーサルデザインの意味
- 人と人の違いはなにか
- 障害は、人ではなく環境にある
- これから、私たちに求められる姿勢
- 押し付けではなく、選択肢を提供する
- 多様な方と向き合うために、100点満点を目指さない

ワーク

- どんな人が、どんなことに困るのか
- 障害やサポートを示すマークの名称と意味
- お声がけのケースワーク

こんな方におすすめ

- 障害者や高齢者と接する機会がある
- 障害者等への向き合い方を知りたい
- 顧客満足度の向上や障害者雇用を促進したい

カリキュラムの詳細__ユニバーサルマナー検定2級



多様な方々への適切な
サポートができるようになる

カリキュラムの一例

- 多様な方々の特徴と心理状況
- 知的障害者・精神障害者へのサポート方法
- シーン別のケーススタディ(グループワーク)
- 車いす使用者への実践的なサポート方法
- 視覚障害者への実践的なサポート方法
- 聴覚障害者への実践的なサポート方法
- 高齢者への実践的なサポート方法
- 試験

実技体験

- 車いす体験
- 視覚障害者体験
- 聴覚障害者・高齢者体験

こんな方におすすめ

- 3級からステップアップしたい
- より深い知識を身に付けたい
- 適切なサポート方法を身に付けたい

カリキュラムの詳細__ユニバーサルワーク研修



精神障害・発達障害が
ある方と協働する

カリキュラムの一例

- 精神・発達障害者の生活と心理
- 精神・発達障害者との協働は社会で当たり前になる
- 精神・発達障害の種類は多種多様
- 障害や症状ではなく相手の原因を見る
- 一緒に働く上で重要なのは不安に気づくこと
- 否定や押しつけはマナー違反
- 共感や同意ができなくても認める
- YES ANDで話すことが有効
- 精神・発達障害者の不安と向き合うマナー

ワーク

- 精神・発達障害者に対するイメージ
- 相手の立場に立って行動するとは
- ケーススタディ

こんな方におすすめ

- 職場に精神・発達障害のある従業員がいる
- 精神障害者への向き合い方を知りたい
- 障害者雇用を促進、定着を図りたい

カリキュラムの詳細__ユニバーサルコミュニケーション研修



聴覚障害がある方との
コミュニケーションを学ぶ

カリキュラムの一例

- 聴覚・言語障害者の生活と心理
- 聴覚・言語障害者とのコミュニケーション方法
- コミュニケーションの注意点
- 音声以外の方法を用意する
- 目の前の人と向き合う姿勢
- 目と表情が会話の第一歩
- 手話言語条例とは
- ハードとハートの取り組み
- 一歩踏み出すことから始まる

ワーク

- ジェスチャー・口話・筆談
- 災害発生時の対応
- 日常で使える手話

こんな方におすすめ

- 聴覚障害者と接する機会がある
- 聴覚障害者への向き合い方を知りたい
- 顧客満足度の向上や障害者雇用を促進したい

カリキュラムの詳細__LGBTQ+対応マナー研修



多様な性自認や性的志向を
正しく理解する

カリキュラムの一例

- LGBTQ+に関する基礎知識
- 性のものさし
- 世界の歴史と国内の状況
- LGBTQ+差別禁止法とは
- 国内における裁判事例
- 職場に求められる配慮(ハードとソフト)
- カミングアウトへの対応と注意点
- 無意識に傷つけている会話
- 国内における先進的事例

ワーク

- トランスジェンダーの人が職場で困りやすい問題は
- カミングアウトへの向き合い方は
- 今日から私たちにできることは

こんな方におすすめ

- LGBTQ+について知りたい
- LGBTQ+の人々への向き合い方を知りたい
- 顧客満足度向上や働きやすい職場環境を作りたい

カリキュラムの詳細__認知症対応マナー研修



認知症の方との
向き合い方を学ぶ

カリキュラムの一例

- 認知症に関する基礎知識
- 認知症は誰もがなりうるもの
- 認知症の3つのステージ
- 買い物や金融機関などにおける困りごと
- 変化に一番気づいているのは本人
- 認知症の方の「障害」はなくすことができる
- 私たちに求められる基本姿勢と心得
- 行動の背景を想像する
- 地域包括支援センターとは

ワーク

- 認知症に対するイメージ
- お声がけのケースワーク
- 今日から私たちにできることは

こんな方におすすめ

- 認知症の方と接する機会がある
- 認知症の方への向き合い方を知りたい
- 顧客満足度向上や働きやすい職場環境を作りたい

各カリキュラムの要件

		検定		関連カリキュラム			
研修名		ユニバーサルマナー 検定3級	ユニバーサルマナー 検定2級	ユニバーサルワーク 研修	ユニバーサルコミュ ニケーション研修	LGBTQ+ 対応マナー研修	認知症 対応マナー研修
内容		高齢者や障害者等への 向き合い方やお声がけ 方法を学ぶ	高齢者や障害者等への 実践的なサポート方法 を学ぶ	精神・発達障害者と働 くための実践的な対応 方法を学ぶ	聴覚障害を理解し多様 なコミュニケーション方 法を学ぶ	LGBTQ+の方への対 応方法や具体的な取り 組み事例を学ぶ	認知症の基礎や様々な 場面での対応方法を学 ぶ
時間		1時間30分	5時間	1時間30分	1時間30分	1時間30分	1時間30分
提供形式	eラーニング	○	－	○	○	○	○
	オンライン	○	－	○	○	○	○
	対面	○	○	○	○	○	○
試験		－	○	－	－	－	－
認定証発行(PDF)		○	○	○	○	○	○
最低受講人数		30名以上	16名以上	30名以上	30名以上	30名以上	30名以上
料金(税込)	受講料	5,500円/人	16,500円/人	5,500円/人	5,500円/人	5,500円/人	5,500円/人
	運営管理費	5,500円/回	33,000円/回	5,500円/回	5,500円/回	5,500円/回	5,500円/回
	更新料	－	3,300円(3年に1度)	－	－	－	－
	認定証(紙)	110円/1枚(PDFは無料)					

受講の流れ(eラーニング)

お問い合わせ

お問い合わせ後、弊社担当者よりご連絡させていただきます。

受講者情報の提出

弊社からご受講予定の人数や受講開始日など必要事項の確認をします。
その後、受講者情報の提出をお願いします。

ご受講

弊社から受講用アカウントIDを付与します。
受講開始日より30日以内にご受講をお願いします。

お支払い

受講用アカウントIDの発行後、請求書を発行しますのでお支払いをお願いします。

認定証の受領

認定証は受講終了後、1ヶ月以内に担当者様へまとめてお届けします。

受講の流れ(オンライン)

お問い合わせ

お問い合わせ後、弊社担当者よりご連絡させていただきます。

受講者情報の提出

弊社からご受講予定の人数や受講開始日など必要事項の確認をします。
その後、受講者情報の提出をお願いします。

ご受講

ご指定いただいた日時にて、指定のオンライン会議システムで検定を実施いたします。

認定証の受領

認定証は受講終了後、1ヶ月以内に担当者様へまとめてお届けします。

お支払い

請求書を発行しますのでお支払いをお願いします。

受講の流れ(実地)

お問い合わせ

お問い合わせ後、弊社担当者よりご連絡させていただきます。

受講者情報の提出

弊社からご受講予定の人数や受講開始日など必要事項の確認をします。
その後、受講者情報の提出をお願いします。

ご受講

ご指定いただいた日時に講師を指定の会場に派遣し、検定を実施いたします。

認定証の受領

認定証は受講終了後、1ヶ月以内に担当者様へまとめてお届けします。

お支払い

請求書を発行しますのでお支払いをお願いします。

よくある質問

Q. どのような目的で受講する企業が多いですか？

A. サービスの向上やダイバーシティ研修、障害者雇用の定着促進などさまざまな目的で導入されています。

Q. どのような企業で導入されていますか？

A. 業界や業種、従業員の規模を問わず、幅広い企業、行政や教育機関、団体等で導入されています。

Q. 社内に浸透させるためには、どのように展開するのがよいのでしょうか？

A. 役員(対面)→管理職(対面／eラーニング)→一般職(eラーニング)の順で、展開する企業が増加しています。

Q. 開催日程は相談できますか？

A. はい。講師や機材の調整ができれば、ご希望の日程での開催が可能です。

Q. eラーニングで受講の場合、自社のeラーニングシステムで受講することは可能ですか？

A. 全従業員受講の場合は、協議・契約締結の上で可能な場合があります。まずはご相談ください。

Q. 会場受検を希望し、自社施設での開催が難しい場合、ミライロの会場を借りることは可能ですか？

A. はい。人数の制限はありますが、弊社東京オフィス(五反田)を利用し、開催することも可能です。

研修担当者の声

- 当社グループはESG経営を標榜しており、D&IはESGマテリアリティの一つとして重要な取組課題となっている。
ユニバーサルマナー検定3級はグループ全社員にD&Iとは何かを認識してもらう格好のツールであり、実際の受検に至るまでの手配、受検中のフォローアップについても木目細かく対応頂きました(サービス業)。
- ユニバーサルマナーはこれからの社会生活やビジネスだけでなく、1人の社会人としても必須と認識しています。多様な方へのお声がけやサポートが自然にできる人が増えていけば、お互いが分かり合えるいい社会になっていくと思います(サービス業)。
- 研修内容が実践で役に立っており、多くの社員に今後も研修を受講してもらい多様性極まる昨今の状況下で思いやりの気持ちが持てる人材育成のツールとして活かせる考える(小売業)。
- 何年も前からユニバーサルマナー検定でお世話になっており、受講者の評判も大変良く、今後も引き続き団体受講をお願いできればと思っています(金融業)。
- 実際の事例を織り交ぜながら、受講者の納得性・理解度を高めるような講義内容になっているため。また、業務だけでなく日常でも活かせる内容であるので、弊社の未受講者にもおススメしたい(小売業)。
- 受講した社員からの満足度も高く、より多くの社員に検定を受けてもらいたいと考えています(メーカー業)。
- 従業員全員の意識向上、受講後の短期間で考え方の変化を感じています(飲食業)。
- 研修内容がよい。また、途中で演習問題があるので、きちんと理解を確認しながら進めることができるのが良い(不動産業)。

cf.ミライロ「納品後アンケート」より

導入事例 | 住友林業

企業情報	- 住友林業株式会社 / 住宅メーカー - 人事部働きかた支援室 マネージャー 根津様 / チームマネージャー 吉川様	
導入サービス	ユニバーサルマナー検定 全社員5,430名への導入	
導入の背景	- 社内の障害者雇用とその定着に課題を感じていた。 - 障害のある方を積極的に受け入れようという部署が少なかった。 - 入社してもすぐに退職してしまうケースが少なくなかった。 - このまま法定雇用率達成を維持できるのか危機感があった。 - 社員の障害に対する理解や特性に応じた対応のために全社員のさらなる意識向上が必要だと感じていた。	
選定プロセス	- 先行して役員および部長・支店長全員がユニバーサルマナー検定を受検したところ大変好評だった。 - 障害者雇用促進の側面だけではなく、多様なお客様への接遇向上といった面でも、ユニバーサルマナー検定は全社員が受けた方が良いとの判断に至った。 - 多様な方々と適切なコミュニケーションを行うためには、1人ひとりが直接学ぶべきだと考えた。	
導入後の効果	- 社員の意識は変わってきている。これまでの障害に関する研修は人権の視点から固いイメージだったところ、身近なシーンを想定しているユニバーサルマナー検定の受講有無で、いざという時の対応に差がでる。 - 障害者雇用は着実に進んだ。初めての部署での障害者の受け入れが進み、現場からは「戦力になってくれてありがたい」、「部内に協力体制が構築され一体感が創出された」等の言葉をいただいた。 - 来店された高齢の方、障害のある方に対して、適切な接客を行えたことで、感謝の言葉とともに、契約に繋がる事例も生まれた。障害のある方だけではなく、お客様一人ひとりと向き合い、ご要望に応える心構えや対応力が一層強まった。	

cf. ミライロ「導入事例 <https://www.mirairo.co.jp/works/interview/sumitomo-forestry>」

導入企業の情報発信例__その①

※敬称略

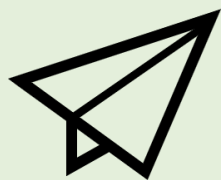
業界	企業名	参考URL	業界初	役員	大規模 ／全社員	情報開示 ／公開
金融	三井住友銀行	全従業員への「ユニバーサルマナー」浸透を目的とした勉強会の開催			●	
	ふくおかフィナンシャルグループ	「みんなにやさしい銀行」を目指して	●			
	名古屋銀行	管理職の「ユニバーサルマナー検定 3 級」取得について		●	●	
	大同生命	全役職員(約7,200名)による「ユニバーサルマナー検定3級」の取得		●	●	
	住友生命	「ユニバーサルマナー検定」の団体受講を推進				●
	太陽生命	太陽生命、生命保険業界で初めて「ユニバーサルマナー検定」を全社に導入	●	●	●	
	SOMPOグループ	さらなる多様性の理解浸透に向けた取組みの開始 グループの役員が「ユニバーサルマナー検定」を取得		●		
交通 物流	成田国際空港	移動等円滑化を図るために必要な教育訓練				●
	Osaka Metro	Osaka Metro Group 全社員がユニバーサルマナー検定を取得		●	●	
	西武鉄道	鉄道事業者向けの「ユニバーサルマナー検定」を共同開発 駅係員や乗務員を対象に受講開始			●	
	日の丸交通	タクシー業界初！日の丸交通のタクシードライバーの皆さまが検定2級を受講	●			
	ヤマトホールディングス	統合レポート 人事戦略 人権と多様性の尊重(P31)	●			●
小売	日本百貨店協会	百貨店は「ゆずりあいをカンガエル。」				●
	高島屋	ユニバーサルマナー検定を社内認定ライセンスに組み入れ、国内百貨店販売員を中心に受講促進				●
	丸井グループ	ESGデータブック 社会-社員(P10)				●
	イオン	グループ従業員約7万人が「ユニバーサルマナー検定」を取得			●	
	セブン-イレブン・ジャパン	ユニバーサルマナー検定3級講座を開催しました				●
	ファミリーマート	障がいのある方や高齢の方へのサポート体制を強化 社長含む経営層がユニバーサルマナー検定を受講		●		

導入企業の情報発信例__その②

※敬称略

業界	企業名	参考URL	業界初	役員	大規模 ／全社員	情報開示 ／公開
メーカー	大和ハウス工業	ダイワハウスのソーシャル・インクルージョン・プログラム				●
	住友林業	住宅業界初 ユニバーサルマナー検定を全社員取得	●	●	●	
	ダイハツ工業	サステナビリティの取り組み ダイバーシティ&インクルージョン		●	●	●
	NECマネジメントパートナー	2026年度までに全従業員のユニバーサルマナー検定3級取得			●	
	ソニー	お客様と直接お会いする場だからこそ多様な方々が安心して受けられるサービスを。				●
	コクヨ	ユニバーサルマナー検定の実施や手話通訳士の派遣を行い、障害のある当事者が働きやすい環境づくり				●
	クリヤマジャパン	クリヤマジャパン(株)全社員がユニバーサルマナー検定3級を取得			●	
ホテル	東急ホテルズ&リゾーツ	「ひとにやさしいホテル」に向けた3つの取り組みを始動 ユニバーサルマナー検定3,000名取得など			●	
	京王プラザホテル	「心のバリアフリー」で、どなたにも安全・快適なホテルライフを				●
	東京ドームホテル	教育プログラム ユニバーサルマナー対応研修				●
	ベストブライダル	ベストブライダルの従業員が「ユニバーサルマナー検定」の3級と2級を取得				●
その他	ロイヤルグループ	「ユニバーサルマナー検定3級」を開催し、会長、社長、役員、各事業会社の担当者、のべ40名が受検		●		
	東洋テック	全従業員約3,700名を対象にユニバーサルマナー教育プログラムを導入		●	●	
	パーソルホールディングス	パーソルホールディングスの役員の皆さまに検定を受講いただきました		●		
	伊藤忠テクノソリューションズ	CTC、IT業界で初めて「ユニバーサルマナー検定」を500人で受講	●			
	レンゴー	多様な人材が能力を発揮できる環境づくり				●
	セガサミーグループ	役員向けの体験型講習でユニバーサルマナーを学習		●		
	ビースリー	アパレル業界で初めて、ユニバーサルマナー検定を導入	●			
	一蘭	一蘭 全スタッフを対象にユニバーサルマナー検定を実施			●	

ユニバーサルマナー検定 に関するお問い合わせ



お問い合わせフォーム

<https://universal-manners.jp/contacts>

定期開催中の法人向け セミナーページ



法人のお客様専用セミナーページ

<https://www.mirairo.co.jp/seminar>

